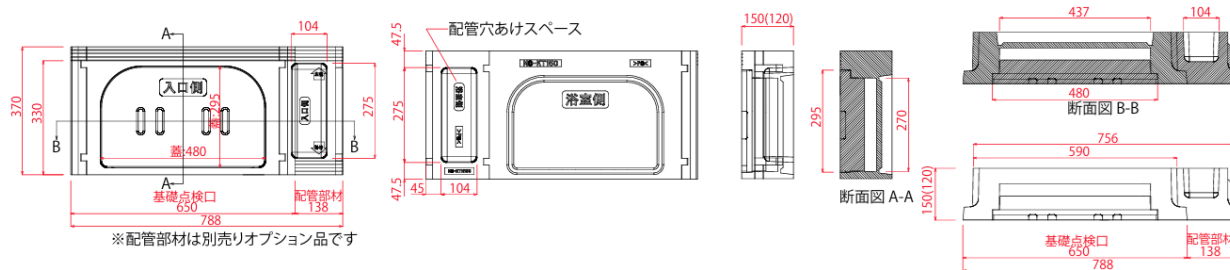


施工要領 基礎点検口断熱材

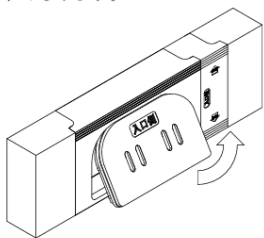
製品寸法図（単位：mm）



- ※基礎点検口のみ使用の場合、縦筋（D10）を 300mm 間隔時は 1 本、200mm 間隔時は 2 本カットして納めることを想定しています。
- ※オプションの配管部材を使用する場合、縦筋（D10）を 300mm 間隔時は 2 本、200mm 間隔時は 3 本カットして納めることを想定しています。
- ※基礎点検口は基礎高さが土間コンクリートから立ち上がり寸法 330 ～ 370mm 用となっております。

蓋の開閉

- ・蓋をあけるときは、蓋を少し上に持ち上げて、下側を手前に引いていただくが開閉しやすくなります。



- ・初めての点検の時、蓋を開けるとコンクリート打設時に枠の開口部分が変形しないように、開口変形防止板が付いている状態ですので、カッター等で枠の縁に沿って切り抜いてください。

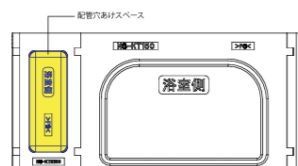
※製品に点線はありません。

※養生シートが付いている場合、はがしてください。

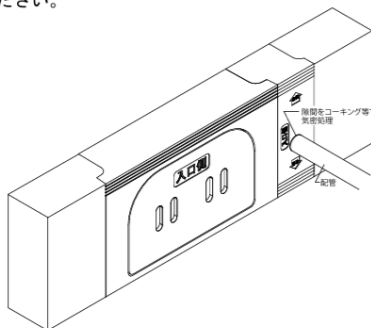


配管部材 配管の穴あけ加工について

- ・浴室側の配管穴あけスペースにホルソー等で穴あけ加工をします。塩ビパイプ VU75 まで通せます。



- ・配管施工後は気密性を確保するため、穴と配管の隙間をコーキング等で処理してください。



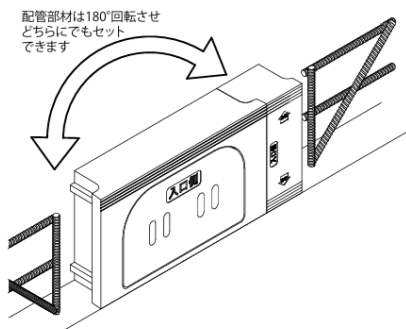
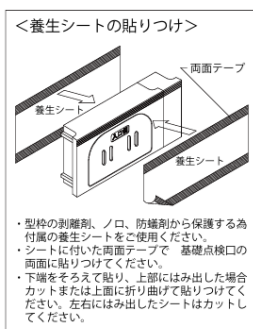
基礎点検口 施工要領

手順 1

- ・付属の養生シートを両面に貼りつけてから、墨出に合わせて基礎点検口を室内側と浴室側、上下を確認してセットします。縦筋と外枠は必要がぶり厚さを確保してください。型枠をセットしてコンクリートを打設してください。

※鋼製型枠の巾止金具が本製品にかからないように注意してください。

土間コンクリートとの間に隙間が発生する原因となります。



手順 2

- ・コンクリート打設後、養生期間をおいて脱型してください。基礎天端より基礎点検口が出ている場合はノコギリ等でカットしてください。また、基礎点検口と土間コンクリートとの接面の気密性を確保するために、コーキング等で処理することをお勧めします。

